

平成30年度事業報告

豊川市国際交流協会は、平成2年4月1日の設立以来、国際交流、国際親善について理解と関心を高め、市民による幅広い国際交流活動を推進することにより、諸外国との相互理解と友好親善を図り、平成24年4月からは、公益財団法人として各種国際交流事業を展開しています。

このような中、平成30年度も国際理解を深めるための交流事業や各種講座、在住外国人の生活などを支援するための日本語教室、相談等、多文化共生社会づくりの為の事業を実施しました。

特に、本年度は、豊川市と米国キュパティーノ市との姉妹都市提携40周年の記念すべき年で、当協会として親善市民使節団を公募し、7月にキュパティーノ市を訪問しました。また、11月にはキュパティーノ市から親善市民使節団が来訪し、豊川市の文化紹介や市民交流など、より一層の絆を深めました。

また、防災への取り組みとして、本年度、「防災ってお互いさま!」ということで、支援する側においても、各団体連携の必要性から豊川市社会福祉協議会や穂の国まちづくりネットワークとの共催で、災害時通訳ボランティア及び防災ボランティアコーディネーターのスキルアップ研修を実施しました。

その他、初めての試みとして、外国人のための税務相談会を確定申告の時期に合せ、豊川市の市民税課、豊橋市国際交流協会、東海税理士会の協力の下に開催しました。

今後も、ボランティアの方々や関係団体と連携し、公益性を活かしながら時代に即した事業を展開して、外国人を含めた市民が安全で安心して暮らせるよう、グローバルな視点で、地域活動を進めてまいります。

公益目的事業1

諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

(1) 交流会

地域の人々と外国人との交流を通じて、相互理解と親善を深めることにより、国際的な視野を広め、国際感覚の醸成を図り、地域レベルでの国際交流、相互理解、友好親善を深めました。

① 七夕交流会

日時	平成30年6月23日(土) 午後1時30分～3時30分
場所	市勤労福祉会館 視聴覚室
参加者	60人(このうち外国人11人、こども24人)
内容	この地域に住む外国人の方と子どもたちと一緒に、日本の伝統行事「七夕」の飾り作り、ゲームなど行い交流を図りました。

② 知多市国際交流協会視察・交流会

日 時 平成30年8月26日(日) 午前10時～正午
場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室
参加者 知多市協会・市民45人(外国人21人)、豊川市協会26人
内 容 両協会の活動報告の後、知多市の外国人の方が日本での生活についてスピーチをしてくださいました。また、最後に全員がダンスを通して、国籍を問わず地域在住の方とともに国際交流を図りました。

③ ワールドコラボフェスタ

日 時 平成30年11月11日(日) 午後1時25分～1時55分
場 所 名古屋オアシス21特設ステージ
参加者 21人
内 容 ラテンアメリカの民族舞踏をオアシス21ステージで県内外の人たちに見ていただき、ラテンアメリカ部会の活動のPRをしました。

④ ワールドフェスティバル2018

日 時 平成30年12月16日(日) 午前11時～午後3時30分
場 所 市勤労福祉会館 大研修ホールほか
参加者 約600人
内 容 イベントの約1週間前から当協会の交流活動や各ボランティア部会の紹介コーナーを設け、当日は、来訪中のマレーシア青少年使節団の歓迎と交流。また、初めての企画として、海外体験をした若者によるトークフォーラムを開催しました。さらにボランティア部会による活動PRと共に交流、高校のボランティアクラブの参加など、特に若者も交えて国際色豊かな催しを行い、相互の親睦と国際理解を深めました。

⑤ 国際交流デー「TUT EXPO 2018」豊橋技術科学大学留学生との交流

日 時 平成30年7月6日(金) 午後6時15分～8時30分
場 所 豊橋技術科学大学
参加者 9人(協会部会員)
内 容 豊橋技科大で行われる留学生、日本人学生、教職員との交流促進を図るイベントに参加し、協会の活動についてPRを行いました。

(2) ジュニアフレンドシップ事業

青少年の国際化への関心を深めるために、ゲームや野外活動を通して多国籍の外国人との交流を行い、相互理解を図りました。

① キッズワールドサマースクール

日 時	平成30年7月22日（日） 午前8時30分～午後4時45分
場 所	鳳来寺自然科学博物館・県民の森会議室内
対 象	市内在住小学校4年生～6年生
参加者	51人（外国人6人、こども29人、スタッフ他16人）
内 容	今年は酷暑のため、野外活動が困難となり、冷房施設のある室内で実施をしました。子どもたちの国際化への関心を深めるため、外国人ゲストと話そうの交流タイムやゲームなどを楽しみながら国際交流を図りました。

(3) 外国支援事業

開発途上国へ中古衣料などを送る支援のために、支援物資の呼びかけをホームページや機関紙で行い、コート、ブラウス、ズボンなど段ボール2箱分の衣料品が集まりました。

公益目的事業2

地域の国際化を推進するための人材の育成と市民活動支援に関する事業

(1) ボランティア登録・育成・活動の紹介

地域の国際化や外国人支援に関心のある市民を対象に、ボランティアとして募集、登録、育成するとともに、協会で行っているボランティア活動の紹介を行いました。

また、地域の国際化を推進するための人材の育成や多文化共生における市民活動の活性化に向けて支援しました。

① 日本語学習支援、イベント支援等のボランティアの募集・登録
機関誌「We」やホームページに掲載して、募集、登録を促しました。

② 情報交換・意見交換会（運営委員会）の開催
協会の事業実施状況、ボランティアグループの活動状況の紹介、情報交換やボランティア活動における課題について話し合う意見交換会を毎月1回、各部会の代表者からなる運営委員会を開催しました。

開催回数 12回

③ 日本語ボランティア スキルアップ研修の開催

ア 東海日本語ネットワーク 豊川日本語ボランティア研修会・交流会

日 時 平成30年8月4日（土） 午後1時30分～4時30分

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

講 師 松井孝浩氏

受講者 50人

内 容 日本語ボランティアの質の向上とより充実した教室活動運営

を図り、東三河の他地域の日本語教室ボランティア同士の情報交換と交流を図る目的で実施しました。その結果日本語ボランティアの意欲を高め、他日本語教室を見る視点ができました。

④ 日本語ボランティア養成講座の開催

ア 日本語を教えるための基本的なこと、効果的な教材の使い方など入門クラス指導のコツとノウハウについて学びました。

日 時 平成30年10月27日（土）午後1時30分～4時45分

場 所 とよかわボランティア・市民活動センタープリオ視聴覚室

講 師 伏屋由美氏（名古屋YWCA）

受講者 16人

イ 日本語教室見学会

日 時 平成30年11月3日（土） 午後7時～8時

場 所 市勤労福祉会館 日本語教室実施教室

参加者 4人

⑤ 災害時通訳ボランティア及び防災VCスキルアップ研修

日 時 平成31年3月9日（土）午前11時から午後3時30分

場 所 市勤労福祉会館 調理室及び視聴覚室

参加者 34人

内 容 社会福祉協議会及び穂の国まちづくりネットワークと初めて共催して、豊川市防災VCのパッククッキング、市防災対策課のコミュニケーション支援ボード使用について、多文化共生マネージャー高木和彦氏の講演による講座を開催しました。講座終了後、5人が災害時通訳ボランティアとして登録しました。

⑥ 市民まつり「おいでん祭」への参加

期 日 平成30年5月26日（土）・27日（日）

場 所 市野球場

内 容 協会事業や各部会の活動をパネルでの紹介を通し、会員募集などを行うとともに、ラテンアメリカの伝統料理や飲み物の販売、民族衣装の展示・試着を行いました。また、ステージでは、ラテンアメリカの伝統的な踊りや民族音楽の演奏を披露しました。

(2) 国際理解講座の開催

人権、環境、平和、防災など地球規模の課題への理解を深め、解決に向けた実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとした講座や講演会などを行うことにより、市民の国際理解を深める取り組みを推進しました。

① 多文化共生課外授業

日 時 平成30年6月3日（日）午前8時15分～午後4時30分
場 所 名古屋市港防災センター、名古屋港ガーデンふ頭
参加者 40人（外国人27人、日本人13人）
内 容 名古屋市港防災センターにて災害疑似体験をしながら防災について学びました。センターのスタッフによる日本語の説明を皆さん聞き入っていました。

② 文化講座の開催

「どんな国シリーズ」として、それぞれの国の歴史、風俗、習慣などについて紹介していただき、国際的な知識と視野を広めました。

ア 「ジンバブエってどんな国」

日 時 平成30年9月9日（日） 午後2時～4時
場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室・調理室
講 師 アグネス・チャンポコ氏
参加者 61人
内 容 図解や写真を使ってジンバブエを説明し、サザ、ビーフシチュー等ジンバブエ料理を試食しました。

イ 「パキスタンってどんな国」

日 時 平成31年2月23日（土） 午後2時～4時
場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室
講 師 スブハン・オラ氏
参加者 37人
内 容 パキスタン出身の講師によりパキスタンの文化や習慣の違いを日本と比較するなどわかりやすく、ユーモアを交えながら説明を受け、同国の歌やダンスを披露しました。

③ 国際理解講演会

JICA ボランティア体験談「イスラム社会の生活と思想パートⅡ」

日 時 平成30年4月22日（日） 午後2時～4時
場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室
講 師 家木幸一氏
参加者 42人
内 容 地元出身の元 JICA シニアボランティア講師による海外の国や市町の経済発展や人々の生活向上に貢献した経験談を聞くことにより、地域の人々が海外へ目を向けて国際交流活動に対する関心を深めました。

(3) 姉妹都市等の交流

姉妹都市との交流支援とともに、海外への市民派遣による異文化体験や、海外からの来訪者に対する国際交流などを通して、地域の方の国際意識を高めました。

① 姉妹都市・友好都市との交流の支援について

日 時 平成30年6月29日（金） 午後6時～8時

場 所 豊川市民プラザ

参加者 協会部会員9人

内 容 豊川市が実施する姉妹都市アメリカ合衆国キュパティーノ市中学生使節団歓迎会での支援

② 姉妹都市提携40周年記念キュパティーノ市親善市民使節団派遣

日 時 平成30年7月10日（火）～7月17日（火）

場 所 アメリカ合衆国カリフォルニア州キュパティーノ市

参加者 市民23人、協会職員2人

内 容 豊川市の姉妹都市のキュパティーノ市を訪問し、ホームステイや公共施設の訪問を通して両市の市民間での交流を深めました。

③ 姉妹都市提携40周年記念キュパティーノ市親善市民使節団来訪

日 時 平成30年11月14日（水）～11月20日（火）

場 所 豊川市内及びその周辺

参加者 キュパティーノ市長始め36人

内 容 キュパティーノ市親善市民使節団が来訪し、公共施設の訪問、豊川稲荷秋季大祭見学や手筒花火の鑑賞により両市民の交流が盛り上がりました。

④ マレーシア高等専門学校訪問団来訪

日 時 平成30年12月14日（金）～17日（月）

来訪者 15人（学生8人、保護者・引率者7人）

内 容 協会と交流のあるマレーシアパマジャのメンバーが関係するスンガイブロー高等専門学校の学生及び保護者等が来訪し、滞在中に当協会のワールドフェスティバルに参加したり、豊川高校への訪問を通し市民交流を深めました。

(4) 外国語講座

語学学習や外国人との会話を通して外国文化に触れ、国際的感覚を養いました。英会話6講座、中国語3講座、スペイン語1講座を実施しました。

① 英会話講座

ア メアリー先生とノリノリ英会話1（初級）

平成30年5月8日～平成30年7月31日（受講者15人）

イ みんなのための英会話1（初級）

平成30年5月8日～平成30年7月24日（受講者25人）

- ウ メアリー先生とノリノリ英会話 2 (初級)
平成30年9月11日～平成30年11月27日 (受講者19人)
- エ みんなのための英会話 2 (初級)
平成30年9月11日～平成30年12月4日 (受講者20人)
- オ 世界のトピックを英語で話してみよう! (中級)
平成30年12月11日～平成31年3月12日 (受講者12人)
- カ 自分の意見を英語で言ってみよう (初中級)
平成30年12月11日～平成31年3月12日 (受講者20人)

② 中国語講座

- ア 中国語発音徹底矯正
平成30年5月10日～平成30年7月5日 (受講者20人)
- イ ワクワク日常中国語 1 (初中級)
平成30年9月13日～平成30年11月29日 (受講者15人)
- ウ ワクワク日常中国語 2 (初中級)
平成30年12月13日～平成31年3月14日 (受講者15人)

③ スペイン語講座

- ア 楽しいスペイン語 (初中級)
平成30年12月12日～平成31年3月20日 (受講者9人)

公益目的事業3

外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

(1) 日本語学習支援事業

外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションをとり、充実した日常生活を送ることができるよう支援するために、日本語教室を開催するなど日本語習得の機会を提供し、文化や制度などの理解を深められるよう日本語の上達を図り、多文化共生社会づくりを推進しました。

① 日本語教室の開催

・夜クラス

日本語習得を希望する外国人を日本語の能力別にクラス編成し、能力にあった日本語指導を行いました。

日 時 4月～翌年3月の毎週土曜日 午後7時45分～午後9時まで
(午後6時～7時30分まで補習あり)

場 所 市勤労福祉会館

講 師 協会の日本語教室部会員

受講者 延べ317人（44期（4月～9月）168人、45期（10月～2月）149人）
内 容 入門から上級まで、20クラスに編成して、1期（概ね20回）で修了し、年2回開講しました。

・ひるまクラス

日本語を勉強したい人が多くの受講機会が得られるよう、前年度から引続いて午前中の教室を開講しました。

時 期 4月～翌年3月の火曜日～木曜日午前10時30分～12時まで

場 所 プリオビル

講 師 協会のボランティア

受講者 延べ42人（12期（4月～8月）19人、13期（10月～翌年3月）23人）

内 容 入門から上級まで、小グループ又は個人レッスンで行い、1期（概ね20回）で修了し、年2回開講しました。

② 豊川市日本語スピーチコンテスト（第9回）

豊川市に在住する日本語が母国語でない小学生以上の男女による日本語スピーチコンテストを開催し、日本での生活を通して考えたことや伝えたいことを発表することにより、国際理解を深めるとともに、市民相互の交流を図りました。

日 時 平成30年10月21日（日） 午後1時30分～4時

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

出場者 13人(小中学生の部3人、高校生以上一般の部10人)

参加者 42人

なお、小中学生の部2人、高校生以上一般の部から3人を選出し、東三河日本語スピーチコンテストへ出場しました。

③ 東三河日本語スピーチコンテスト（第9回）

東三河5市の国際交流協会で行っている日本語スピーチコンテストで、新城市で開催されました。

日 時 平成31年1月27日（日） 午後1時30分～5時

場 所 新城文化会館

出場者 小、中学生の部 15人

高校生以上一般の部 10人

入場者 約300人

なお、当協会選出者が高校生以上一般の部において最優秀賞に輝きました。

④ ひらがな新聞発行业

市内在住の外国人を対象に、日本の風習習慣や季節ごとの便りなどをひらがな新聞で提供するため、保育園、小・中学校などを通して配布しました

発行回数：4回 発行部数：1,200部

(2) ペクラ事業

この地域に在住するラテンアメリカにつながる子どもたちが、母国語や日本語で円滑なコミュニケーションをとれるよう、母国語教室及び日本語教室を開催するとともに、学習支援などを通して、多文化共生社会づくりの促進を図りました。

① 小中学生学習支援クラス

日 時 4月～3月の第1、2、3土曜日 午後2時～6時
年間37回開講

場 所 主に市社会福祉会館（ウィズ豊川）

講 師 専門講師及び協会ボランティア

登録者 13人

学習者 31人

内 容 母国語、日本語及び学校の教科の学習支援を行いました。

② アトリエ

日 時 4月～3月の毎月 第1、2、3土曜日 午後6時～9時

場 所 主に市社会福祉会館（ウィズ豊川）

講 師 協会部会のボランティア

参加者 15人（小・中学生）

内 容 ラテンアメリカの子どもたちに母国の文化の伝承や母国についてより深く知ってもらうため、主に民族舞踊を教えています。

(3) 外国人支援講座

日本で生活するための社会制度などを理解するための講座や相談会を行いました。

① ごみの分け方と出し方

日 時 10月14日（日）午後2時～3時30分

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

講 師 市清掃事業課

参加者 32人（外国人26人）

内 容 市内に住む外国人が直面するゴミ等の分け方と出し方について学び、地域の人と共に暮らす多文化共生社会の一助としました。

② 外国人のための税務相談会

日 時 2月17日（日）午前10時～午後3時30分

場 所 豊川市ふれあいセンター

協 力 市民税課、豊橋市国際交流協会、東海税理士会豊橋支部

参加者 29人（ブラジル25人、ペルー3人、パラグアイ1人）

内 容 市内在住の外国人の方への確定申告の支援をし、地域の

人と共に暮らす多文化共生社会の一助としました。

(4) 外国人多言語相談事業

外国人市民が抱える問題に対し、母国語で相談できるよう住民に関する生活情報等の収集、提供を多言語で行うことにより、外国人市民への生活支援の充実を図ることで、多文化共生社会づくりを推進しました。

- ① スペイン語、中国語、英語による生活相談及び情報提供
・相談件数 39件

(5) 翻訳事業

住民、行政機関、各種団体からの翻訳の依頼に対し、必要な翻訳を行い多文化共生社会づくりに寄与しました。

- ① 個人から行政機関等に提出する公文書、市役所等が外国人向けに提供する行政情報及び公的な文書の翻訳
通年にわたり、スペイン語、中国語、英語の通訳、翻訳などを行いました。

公益目的事業4

地域の国際化を推進するための調査研究及び情報提供に関する事業

(1) 機関誌発行事業

地域の国際化に関する情報を市民や関係団体に情報提供することで、市民レベルでのボランティア活動の推進と地域の国際化を図りました。

- ① 機関誌「We」の発行
発行回数・部数 年3回（5月・10月・1月）3回で4,500部

(2) 広報とよかわ「インフォルマ」スペイン語・ポルトガル語版翻訳事業

日本語がわからないために情報格差が生じがちな外国人市民に対し、市広報の行政情報の一部を母国語で提供しました。

- ① 「インフォルマ」の翻訳
発行回数・部数 年12回・1,800部 /回

(3) 協会ホームページの運営

広報手段として重要なホームページを管理・運営することにより、生活に必要な情報を速やかに提供するとともに、協会の事業やボランティア活動に参加を促し、地域の国際化の推進を図りました。

① ホームページでの情報提供

本協会の行事予定や活動状況、語学講座や文化講座の諸事業について、より多くの方に情報提供し協会事業への参加を促すための情報発信を行いました。

附属明細書

平成30年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。